



# こしがやシルバー だより

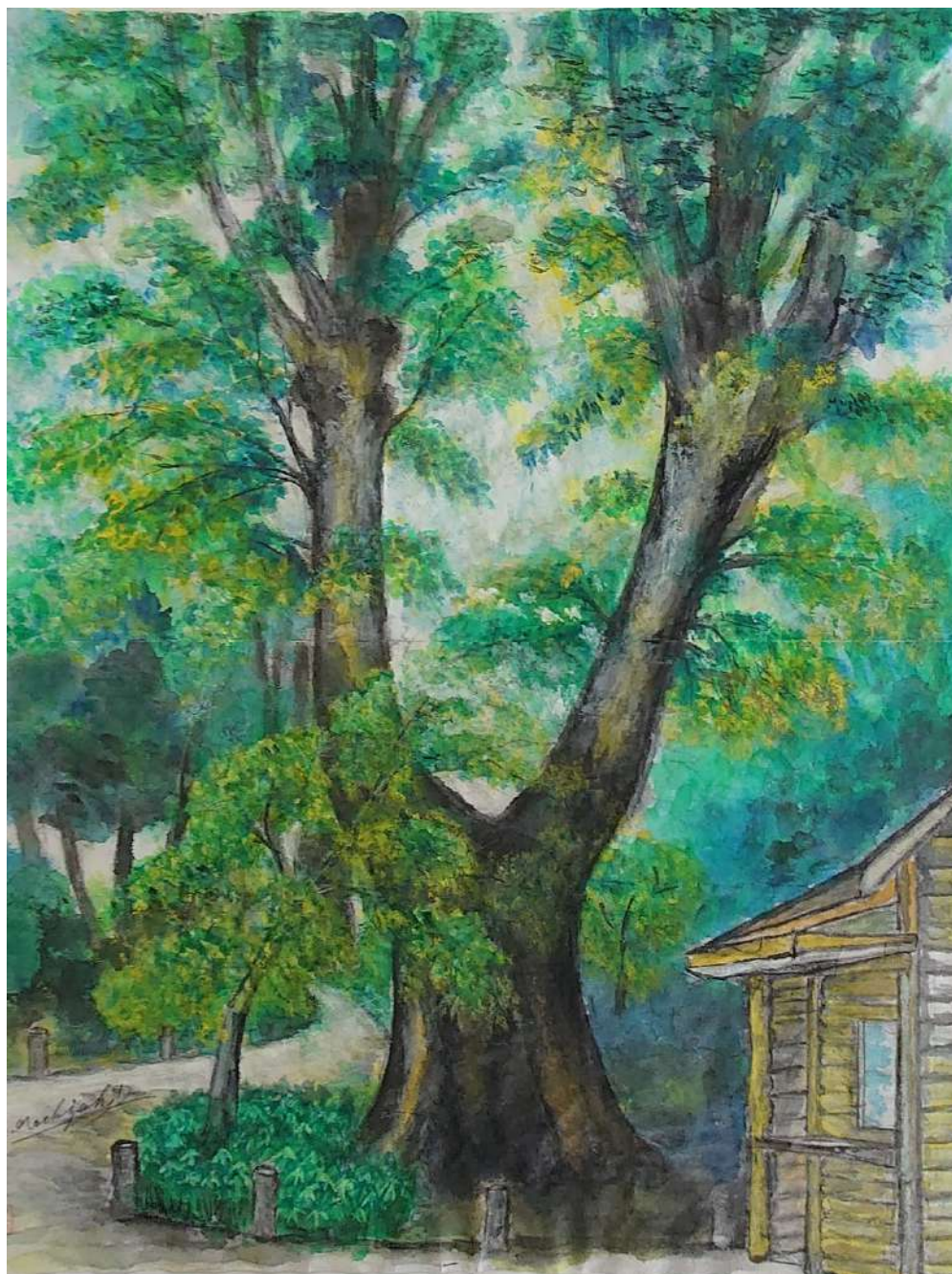
## 越谷アリタキ植物園

有瀧龍男氏が遺した植物の楽園



まだ日本に樹木園と公称する植物園が無かった時代、父の平太郎氏が築いた庭園「松花園」を引継ぎ、規模を拡大して造られたのが「アリタキ・ア-ポレ-タム」です。戦時中は貴重な食糧を栽培するための畑として、戦後は外国からも多様な樹木が集まる場として実り続けてきました。

越谷市に遺贈後、数多くの方の尽力のもと整備が進み、2010年に「アリタキ植物園」として開園しました。入口では、樹齢100年超えの巨樹「シナサワグルミ」が来園者を出迎えます。



水彩画 作品「シナサワグルミ」 望月 邦彦会員(アリタキ緑の会ボランティア所属)

### 目次

- 表紙・・・越谷アリタキ植物園
- P 2・・・令和4年度定時総会開催
- P 3・・・安全・クレーム撲滅標語受賞者発表
- P 4、5・・・越谷市シルバー人材センターのあゆみ
- P 6・・・私たちの住む街 出羽地区
- P 7・・・安全ニュース、フレイル予防運動
- P 8・・・入会のご案内、編集後記

発行 公益社団法人越谷市シルバー人材センター  
編集 広報委員会

〒 343-0023 越谷市東越谷1-5-6

産業雇用支援施設3F

TEL: 048-967-4311

FAX: 048-962-8300

E-mail [koshigaya@sjc.ne.jp](mailto:koshigaya@sjc.ne.jp)

URL <http://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>



## 令和4年度 定時総会が開催されました

令和4年6月24日（金）、第42回令和4年度定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うご来場の自粛要請のため、大規模会場での開催を自粛し、産業雇用支援施設の3階会議室で開催されました。

はじめに吉田種盛理事長から「規模縮小での総会開催にあたり、皆様のご協力に感謝いたします。令和3年度の事業実績につきましては、事業基本方針の一つである会員数の拡大の達成、および契約金額が前年度比増となりました。会員の皆様と発注者様、関係各所の皆様方からのご支援に感謝申し上げます。



理事長 吉田 種盛

令和4年度は、1.安全就業の推進、2.会員の確保、3.財政の安定、4.楽しい仲間づくりシルバー人材センターの4点を事業の柱として中長期計画の推進を図り、引き続き一人一人が新型コロナ感染防止対策を行うことで地域貢献を行ってまいります。」と挨拶がありました。

続いて、吉田理事長による開会宣言ののち、資格審査報告がありました。総会員数1,331名に対し、事前に事務局に届いた891通の委任状および15名の出席者をもって定款に定める定足数を満たし、総会は有効に成立いたしました。

議長選任を行った後、議事に入り、報告事項5件ならびに議案1案件が提示されました。審議の結果、報告事項に異議はなく、議案も原案のとおり可決承認されました。

その後、議長退任ののち、奥山茂子副理事長の挨拶をもって総会は無事終了いたしました。

ここに、感染防止対策にご理解・ご協力頂き、委任状提出による開催方法で無事開催出来ましたことを、会員の皆様方に感謝申し上げます。

### ● 報告事項 ●

1. 監査報告
2. 事業報告
3. 収支補正予算報告
4. 事業計画報告
5. 収支予算報告

### ● 決議事項 ●

1. 令和3年度 貸借対照表及び損益計画書  
(正味財産増減計画書)、財産目録の承認



定時総会の様子

## 安全標語・クレーム撲滅標語 受賞者発表

令和4年度越谷市シルバー人材センターで募集しました、安全標語、クレーム撲滅標語の受賞者を発表いたします。例年定時総会にて表彰式を実施していましたが、縮小開催に伴い紙面での表彰に代えさせていただきます。受賞者の皆様、この度はおめでとうございます！

### ●安全標語受賞者●

金賞：目配りと 気配りこそが 事故なくす  
(桜井地区 長沼 英雄会員)



#### コメント

この度は安全標語の募集に応募したところ金賞の栄をいただきありがとうございます。日頃、勤務するにあたり、ハンドブックに目を通したり自分で注意している事を書きました。これからも安全に充分気をつけて働きたいと思っています。

銀賞：“安全が 最優先”と 持つ自覚  
(大相模地区 田崎 孝一会員)



田崎会員



戸田会員

銀賞：慣れてると 自信過剰で 招く事故  
(桜井地区 戸田 弘 会員)

### ●クレーム撲滅標語受賞者●

金賞：信頼は 仕事と態度 思いやり  
(大相模地区 石井いつ子会員)



#### コメント

信頼されるシルバーとして、常にお客様の目線に立ち就業することの大切さを肝に銘じ、自覚を持ちながらシルバー会員を続けていきたいと思えます。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

銀賞：信頼を わずかなミスが 無駄にする  
(増林地区 中村 次男会員)



中村会員



山杉会員

銀賞：仕事には 基本しっかり 忠実に  
(大袋地区 山杉 道雄会員)



## 特集 越谷市シルバー人材センターのあゆみ ～事務所の変遷から歴史を振り返る～

### Part 1：センター設立から今日まで

日本社会の急速な少子高齢化が予測されていたころ、定年退職後の臨時的・短期的な就業を通しての緩やかな社会からの引退、生きがい対策、健康福祉等の問題解決の一助として、昭和50年、シルバー人材センターの前身である「高齢者事業団」の第1号が東京都江戸川区に誕生しました。その後、全国的に地方自治体の独自事業として広まり、国はこの事業を「自主、自立・共働、共助」を理念とする「高齢者能力活用事業（シルバー人材センター事業）」として補助事業としました。



越谷市においても、昭和55年4月に「越谷市高齢者事業団準備事務局」が旧市立福祉会館（現：越谷市中央市民会館場所）に開設され、事務局職員2名を採用して設立に向けての事業所向けアンケート調査の実施、入会説明会等を経て、同年10月3日に「越谷市高齢者事業団設立総会」を開催して県内6番目の事業団として産声を上げました。

設立年度末の会員数は387人、受注件数は151件、契約金額は9,797,688円からのスタートとなりました。その後、昭和57年6月に「社団法人越谷市シルバー人材センター」として法人化、さらに平成24年度から県の公益法人認定を受けて「公益社団法人越谷市シルバー人材センター」へと移行して現在に至っています。この間、数回の事務所移転を行いながら、様々な事業の拡大と実績増に併せて事務局職員も増員してまいりました。

この4月からは、市当局の計らいで、「産業雇用支援施設」の3階部分のほぼ全域（従来の3倍の面積）を事務所、会議室、作業室、倉庫等として使用できるようになりました。これまでは理事会や研修会等を開催するときには、事前に会場の予約状況を確認して借用申請をしなければなりませんでした。これからは自由にセンター事務所の一部として使用できるようになり大変感謝しております。また、サロンのようなスペースもありますので、会員の皆様の親睦交流の場としてもご利用いただけるものと思います。

この建物の1、2階には「ハローワーク越谷」も同居していますので、今後もシルバー人材センター事業と求職・求人等におけるワンストップサービスの拠点として展開していくことが期待されています。

### Part 2：センター事務所の変遷

#### ① 旧：市立福祉会館（昭和55年4月～平成元年7月）

会館1階の旧レストラン跡に事務所を開設、当初の室内は事務局と襖・障子張り替えの作業場が更衣ロッカーを衝立にした状態で同居していました。その後、同館内にあった大広間を使用できるようになり、襖・障子作業に加えて内職作業を受注して20人程の男女会員がワイワイ楽しみながら就業していました。



#### ② 旧：越ヶ谷公民館別館（平成元年7月～平成3年3月）

福祉会館の老朽化による中央市民会館への建て替え期間中には、旧：越ヶ谷公民館の別館（越ヶ谷1丁目）に移転しました。ここの建物は昔の木造校舎を移築したもので、かなり古い建物でしたが、事務所と作業所（襖・障子）と車庫を提供していただきました。

#### ③ 中央市民会館（平成3年4月～平成5年3月）

市立福祉会館とそれに隣接していた乳児保育所と郵便局の跡地に「越谷市中央市民会館」が完成し、同館2階の一面にセンター事務所も移転しました。職員は市の中心部で最新の大型施設の中での勤務でしたが、作業所は旧事務所のままで取り壊しが予定されていたので、新しい作業所を市に要望したところ、新たに建設される第2老人福祉センターの中に事務所と一緒に造っていただける運びとなりました。



#### ④ 老人福祉センターくすのき荘

（平成5年4月～平成17年3月）

大杉地域に完成した市立老人福祉センター「くすのき荘」に事務所と作業所を移転しました。続けて新施設での業務となりましたが、場所が市北部で最寄り駅から遠かったことから会員や市民への利便性を考えて、事務所部分の市中央部への移転を要望していききましたところ、旧：東京電力ビルを改装した「産業雇用支援センター」に移転できることになりました。

#### ⑤ 産業雇用支援センター（平成17年4月～現在）

市役所に近い市中央部の「産業雇用支援センター」3階が現在の事務局です。襖・障子張りの作業所はくすのき荘内のままで、旧事務所部分はカルチャー教室（書道、パソコン）事業や内職作業等で使用させていただいております。以前は3階の一面をお借りしておりましたが、市事務室移転に伴い、今年度から3階全体を事務所として活用しております。





## 連載：私たちの住む街

## 【第7弾 今回は越谷市出羽地区をピックアップ】

出羽とは？天正18年に徳川家康が関東入国すると会田出羽資久が家臣となり、屋敷の一部を越谷御殿の一部として差し出した。明治22年に四丁野村、神明下村、七左衛門村、越巻村、大間野村、谷中村が合併して出羽村になった。

## 出羽公園

総合公園として、体育館、遊歩道、釣り池があり春にはふれあい花壇、チューリップコミュニティフェスタが行われる。

## 〔出羽チューリップコミュニティフェスタ〕



出羽公園

平成15年から、出羽公園を地域のシンボルにと出羽地区コミュニティ推進協議会が主催で毎年4月に開催されている。地域の自治会や小中学校の皆さんが育てたチューリップの鉢植え約5万本が出羽公園を色どる。



出羽チューリップコミュニティフェスタ



出羽堀第2号雨水幹線(左)合流地点

## 出羽堀

末田用水から分水し(三ッ又堰)綾瀬川に合流する。江戸時代の慶長から元和年間の間に越ヶ谷領の土豪である会田出羽介が湿地を干拓して水路を開削し、出羽堀が造られた。

## 大沼大明神

石の鳥居をもち、明神様、兵主(もののふ)神社と呼ばれている。日露戦争の最中に社から何千、何百の鳩が飛び立ちこの地方出身の人々を守ったと言われている。



大沼大明神

## 観照院

七左町七丁目にある観照院には、沼沢地を新田に開発した会田七左衛門の遺徳を偲び、村民が夫婦座像を奉納したとみられている。

会田七左衛門夫婦座像  
(市指定文化財)

観照院

## 大間野旧中村家住宅(越谷市保存民家)

主屋、長屋門、石倉、土蔵があり伝統的な建築方式で主に古材を利用して復元されている。



大間野旧中村家住宅

出羽地区センター 暮らしと文化「出羽地区今昔物語」より

## 名産品



## 幻のもち米太郎兵衛もち

江戸時代には幕府大奥御用のもち米として御前細餅と呼ばれていた。500年程前四丁野村の名主であった会田太郎兵衛が、もち米の改良に取り組み慶長元年に成功し太郎兵衛糯と呼ばれた。



## 慈姑(くわい)

くわいの名前の由来は、楡芋、河芋、食われ菌等がある。出羽地区センターでは料理講習会が行われている。

## 安全ニュース

### 安全管理委員会よりお知らせ

## パワハラは許しません！！

いわゆるパワーハラスメント（以下パワハラ）防止法が2020年6月に施行され、2022年4月には中小企業もその対象となりました。

シルバー人材センターの共働・共助の理念からすれば、法の施行を待つまでもなく、パワハラは絶対に許されない行為です。

法律では、パワハラとは以下の定義となっております。

- 優越的な関係を背景とした言動であること
- 業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動であること
- 労働者の就業環境が害されるものであること



身体的な暴力だけでなく、言葉による攻撃もパワハラにあたります。

裁判事例を参考にした具体的な例としては「てめえ、何やってんだ」「引きずり倒すぞお前」「給料泥棒」「ばかやろう」などが該当します。

相手の人格を否定したり、暴言・脅しなどは他の要素と相まってパワハラと認定されています。

グループ就業の先輩会員が「指導」のつもりでパワハラまがいの行為をする可能性もあります。当人は熱心な「指導」のつもりでも、場合によってはパワハラに該当することもありますので、言動には注意しましょう。

当センターはパワハラを許しません。仮にパワハラを受けたと思う会員の方は、事務局の業務係までご相談ください。内容によっては、就業規約や措置規則に基づき厳正な処分をいたします。

## フレイル予防運動のご紹介 ～元気な体で安全就業を！～

### 座って「背伸びの運動」

- ① 背中を伸ばして座る
- ② 両手を耳の高さに挙げる
- ③ 両手を天井に向けて伸ばす
- ④ 5秒ほどキープして元の位置に戻す

※はじめは3回程度から、徐々に回数を増やしていきましょう(最大10回程度)



写真:越谷市シルバー人材センターフレイル予防講座



## 入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。

1

説明会  
参加申込

### まずは説明会への参加申込みを

説明会は毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、お申込みください。お申込はお電話の他、ファックス・郵送でも受け付けます。

※ お問い合わせはお気軽にセンター窓口またはお電話（048-967-4311）で。



説明会のご案内は地区センターにチラシ設置の他、当センターホームページでもご覧いただけます。

2

入会説明会  
接遇研修会

### 納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしくみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話しします。

3

入会  
登録

### 登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なこと経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会登録会では、お一人おひとりのご希望を伺います。

### ※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費（2,400円）がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。

### 編集後記

4ページと5ページに、当センターの設立間もない時期から事務局職員となり、今日まで長きにわたり発展を支えていただいた、当センターの新井職員、後藤職員に事務所の移転等を含む「あゆみ」を振り返っていただきました。県内6番目の「高齢者事業団」として発足してしばらくは、まだ認知度は低く越谷市内の事業者様、個人発注者様への周知活動あるいはセンター会員の募集活動など言わば「生みの苦しみ」や「やりがい」も強く経験されたことと推察します。おかげさまで、今日、事業規模も事務所の態様も当初から比較すれば大きく発展し、地域社会にしっかりと根づくことができたように思います。人生100年時代といわれるような超高齢社会の中で、「自主、自立、共働、共助」という設立の理念に加えて福祉的な要素「生き甲斐、健康、繋がり」などにも積極的な関わりが求められていると感じているのは編集子だけではないのではないかと思います。

中澤 廣一（広報委員会 副委員長）